

令和5年度 第2回知立市図書館協議会 議事録

1. 日時・場所

令和6年2月6日(火) 午後2時～3時20分
知立市図書館2階 視聴覚室

2. 出席者

委員：近藤博子、鈴木加代子、佐久間裕美、加藤叔美、橘玲子、豊田一代、佐藤洋介
(欠席：加古美江子)

事務局：宇野教育長、寺田教育部長、河合文化課長、近藤課長補佐
(欠席：渡辺主査)

3. 協議事項

- (1) 第3次子ども読書活動推進計画の進捗状況報告について
- (2) 令和6年度事業計画(案)について

4. 概要及び経過

(午後2時開会)

進行：河合文化課長

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 会長あいさつ

協議事項の概要は次のとおり

協議事項(1) 第3次子ども読書活動推進計画の進捗状況報告について

近藤会長 協議事項(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 第3次子ども読書活動推進計画の進捗状況報告について、資料に沿って説明。

近藤会長 ご意見・ご質問はありますか。ないようですので、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

(全員承認)

近藤会長 協議事項(1)についてご承認いただきました。

協議事項(2) 令和6年度事業計画(案)について

近藤会長 協議事項(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 令和6年度事業計画(案)について、資料に沿って説明。

近藤会長 ご意見・ご質問はありますか。

豊田委員 ホームページにボランティアグループの紹介ページがあるが、写真が古いので更新してほしい。また、「大人のための朗読会」は現在実施していないので削除してほしい。

- 事務局 更新します。
- 佐久間委員 図書館だよりは知立市内の各世帯に配布されているのか。
- 事務局 令和3年度までは区長を通じて全戸回覧していたが、以後回覧ができなくなった。各小中学校、保育所、児童センター等へは必要数配布している。
- 佐久間委員 自分にあった本との出会いが大切である。子どもの読書感想文等で図書館を利用する。映画会をやっていることは最近知った。PTAで学校を良くしていくための課題としてあいさつと読書離れが挙がっている。個人として図書館の情報を発信していきたい。
- 橘委員 佐久間委員が言われたように図書館の情報を発信していくことが大事である。図書館は市民のものであり、図書館だよりの全戸回覧は復活してもらいたい。高齢者は図書館のホームページにたどり着く人は少ないと思う。
- 加藤委員 例年、リサイクル本は図書館まつりの期間に開催されていたと思うが、方法を変えたのか。
- 事務局 以前は図書館まつり期間中にリサイクル市を実施していた。コロナ禍において密を避けるために会場は特別閲覧室からロビーに変更し、期間も長く実施するようにした。コロナ明けにおいてもその方法を継続することとした。
- 加藤委員 常にリサイクル本があると図書館に足を運ぼうという気になる。東玄関からの来館者は気づかないで帰る人もいると思うので、東玄関側にも周知されるとよい。
- 鈴木委員 知立小学校の学校評価アンケートに「本をよく読んでいますか」という項目がある。図書室はよく利用されていると感じていたが、数値が減っていて残念に感じた。現在も行っている朝の読書の時間をこれまで以上に大切にしたり、読み聞かせボランティアを復活したりするなど、できることをもっと積極的にしなくてはいけないと反省した。
- 近藤会長 令和6年度事業計画（案）について、その他にご意見はありますか。ないようですので、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

（全員承認）

- 近藤会長 協議事項（2）についてご承認いただきました。

その他について

- 近藤会長 その他について、発言をお願いします。
- 事務局 第1回知立市図書館協議会での指摘事項について現状を報告します。
バルーンアート教室の開催回数を増やしてはというご指摘について、R6年度は2回から4回に増やします。次に、保護者向けに絵本選びの講座を開催してはどうかのご提案について、第3木曜に開催する絵本の時間に、絵本選びの相談会を設けるようにしました。また、電子図書館の使い方を動画等で示してはとのご提案について、業者により作成中であり、でき次第掲載する予定です。続いて、雑誌について若い人向けの雑誌が少ないというご指摘について、今年度2冊新たな雑誌を追加しました（和楽及びハルメク）。これらはどちらかというとシニア向けではあるが利用者の要望によるもの。ご提案のあった「ことりっぷmagazine」を含めて導入を検討中である。
- 近藤会長 委員の意見が図書館を変えるきっかけになる。ご意見をお願いします。
- 鈴木委員 リサイクル本を教室で活用できるのはありがたいので、今後も学校等の関係者へ声をかけ

ていただくことを継続していただけるとよい。

佐久間委員 図書館だよりは子どものファイルで見たような気がする。とくに低学年の子は学区が異なると図書館に行きづらいので、親が足を運ぶことが大事。学校等への配布は継続していただきたい。町内会の回覧板で図書館だよりを見るか見ないかといったらなかなか難しいかもしれない。

橘 委員 おじいちゃん、おばあちゃんが孫を連れて行こうか、という機会になるかもしれない。高齢者にも目を向けていただきたい。

加藤委員 雑誌は思っていたよりも若い人向けのものも入っていると感じた。残念なのは雑誌コーナーの前に閲覧用の椅子があり、その場に立つとお尻を向けることになる。配置を工夫していただけるとよいと感じた。また、安城のアンフォーレでは閲覧室の中で学生が勉強しているが、休憩で本棚を見る機会がある。意図しないで本が目に入ると、触れる、借りるということにつながる。知立市図書館では構造上難しいかもしれないが、図書に接触しないで学習室だけを利用するのはもったいない気がする。

橘 委員 民生委員の会議において、不登校の生徒が増えているが、遅れてきたりする生徒の居場所がない、図書室も利用するが大きさ的にも時間的にも制約があると聞いた。思い付きだが、図書館の視聴覚室などで不登校の子どもたちを受け入れる体制がとれないかと思った。

豊田委員 図書館まつりで職員によるPOP作成をして本を並べていた。利用者による貸出も多くみられた。POP作成は大変だと思うが図書館まつり以外でも実施するとよいと思う。

佐藤委員 学校図書館へ一番望むことのアンケートにもあったが、気軽に行けるということは大人にとっても同じと思う。学校図書室の利用は、時間も限られており、図書室に近い教室はよく利用されるという傾向がある。刈谷のショッピングモールの中で市民がブースを借りてご自身の本を貸すというコーナーがある。買い物ついでに借りられるという気軽さがよい。図書館の一角に市民の方が本を紹介できるコーナーがあったり、図書館に来なくても図書館の本が借りられる環境があると興味がなかった人が本に触れる機会になると思う。

近藤会長 本が10冊借りられることは魅力である。リサイクル本も利用した。残念ながら骨董の関係で目当ての本がなかったが、県図書館の本も取寄せができると書いてあり、足を運ぶことが大事である。せっきくの図書館ですので利用を高めていきたい。各委員のご意見に対して事務局より発言をお願いしたい。

事務局近藤 例年、リサイクル本は事前に学校等関係者を対象に内覧会を実施している。今後も継続して活用を図ります。雑誌コーナーの座席についても検討します。学習室と本との結び付けについては空間的な問題で難しいが今後の研究としたい。学習室に本の紹介はしているのでご承知おきください。不登校の生徒の受け入れについては、図書館としては不登校の生徒と限定した場所の提供は難しいが、そういった子どもの居場所としての環境づくりに努めたい。POPや気軽に借りる環境づくりに関しては、国産材を利用した本棚の購入を予定している。これを活用し職員のお薦め本や特集の本など気軽に借りられる工夫をしたい。

文化課長 リサイクル本など利用者へ足を運んでいただくよう工夫しているが、より一層周知に努めたい。学校図書室とも貸し借りの連携もすすめるべきと考えており、より良い環境づくりに努めたい。不登校生徒の居場所づくりについては教育委員会として場所が必要とあれば

図書館でも協力するというスタンスでいる。借りやすい環境づくりについては、今時代にあわせて取り組んでいるのが電子図書館で、読めるコンテンツの充実を少しずつ取り組んでいる。取組の一つとして充実を図りたい。

教育部長 POPやアンフォーレの話があった。中学生の子ども議会で、図書館でPOP作成の機会を設けたらどうかという提案があった。人が集う場所として有効であることをアンフォーレと比較して述べられた。アンフォーレも見に行った。今どきの図書館で感心したが、知立の図書館にもよいところもある。本を手にとってみたいと思わせる工夫が大切であると改めて認識した。

教育長 不登校の子どもの居場所づくりに関して、知立東小学校の一角にむすびあい教室というものがああり、受け皿はつくっている。また、各学校のパソコンルームがタブレットの配布により不要となり改修工事して小学校に1室、そういった児童の居場所づくりを進めている。読書離れといわれる中、それぞれの興味関心あることがらをどこで得られるのかを伝えるようにすることが大切である。アイデアをいただきながら進めていきたい。

(午後3時20分閉会)

第2回知立市図書館協議会での指摘事項・今後の課題

- ・図書館ホームページのボランティアグループの紹介ページが古いため更新する。
- ・図書館だよりの全戸回覧の復活の要望
- ・東玄関側にもリサイクル本の周知をする。
- ・雑誌コーナー前の椅子の配置を検討する。
- ・学習室の利用者が本に触れ合えるように検討する。
- ・不登校の子どもの居場所の提供を検討する。
- ・職員によるPOP作成を図書館まつり以外にも実施
- ・市民お薦めの棚づくりなど気軽に本が借りられる環境づくり